

2020年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社明光ネットワークジャパン
代表者名 代表取締役社長 山 下 一 仁
(コード番号: 4668 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 坂 元 考 行
(TEL: 03-5860-2111 代表)

連結業績予想と実績値との差異及び特別損失（減損損失及び投資有価証券評価損）の計上
に関するお知らせ

2020年7月10日に発表いたしました2020年8月期連結業績予想と本日発表の連結業績実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

併せまして、2020年10月15日開催の取締役会において、2020年8月期第4四半期会計期間（2020年6月1日～2020年8月31日）に関して、下記のとおり特別損失として、減損損失及び投資有価証券評価損を計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年8月期連結業績予想と実績値の差異（2019年9月1日～2020年8月31日）

(1) 連結業績予想と実績値との差異 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年7月10日発表)	18,220	△80	100	240	9.16円
実績値 (B)	18,218	214	451	△2,232	△85.21円
増減額 (B-A)	△2	294	351	△2,472	—
増減率 (%)	△0.01	—	351.92	—	—
(参考) 前期連結実績 (2019年8月期)	19,967	1,775	1,907	958	36.08円

(2) 差異の理由

2020年8月期連結業績につきまして、売上高は概ね前回発表予想通りとなりましたが、当社グループ全体で人件費及び販売促進費を含む経費全般のコントロールに努めたことなどにより、営業利益は前回発表予想より294百万円増の214百万円、経常利益は前回発表予想より351百万円増の451百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の計上により2,472百万円減の△2,232百万円となりました。なお、期末配当予想につきましては、2020年7月10日に公表しました1株あたり15円から変更はございません。

2. 特別損失（減損損失及び投資有価証券評価損）の計上

当社の連結子会社である株式会社 MAXIS エデュケーション、株式会社ケイライン、株式会社ケイ・エム・ジーコーポレーションの明光義塾事業3社、株式会社早稲田 EDU、国際人材開発株式会社の日本語学校事業2社につきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大による入国制限措置、消費者心理への影響、市況の低迷の経済状況を踏まえ、各社の事業計画に対する進捗状況や今後の見通しを検討した結果、2020年8月期において、固定資産156百万円及びのれん未償却残高2,296百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、当社が保有する投資有価証券のうち、その財政状態、事業計画等を勘案して実質価額の回復が認められないものにつきまして、2020年8月期において、投資有価証券評価損468百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、上記の特別損失は、本日付で公表いたしました2020年8月期決算短信に反映しております。

以 上